

COVID-19 における妊婦のメンタルヘルスへの影響

2018 年 9 月から 2021 年 8 月に当院で妊婦健診を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「COVID-19 における妊婦のメンタルヘルスへの影響」という研究を行います。この研究は、2018 年 9 月 1 日より 2021 年 8 月 31 日までに日本医科大学武蔵小杉病院産婦人科にて、妊婦健診を受けられた患者さんのエジンバラ産後うつ病自己評価票 (EPDS) をもとに COVID-19 流行前後での周産期のメンタルヘルスの変化を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：COVID-19 による妊婦のメンタルヘルスへの影響

研究期間：2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日

研究責任者：日本医科大学武蔵小杉病院 女性診療科・産科 渡邊 朝子

(2) 研究の意義、目的について

本研究は、妊娠中期に実施した EPDS を用いて、COVID-19 が妊娠中の精神的健康に及ぼした影響を調査することを目的とします。

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2018 年 9 月から 2021 年 8 月までに日本医科大学武蔵小杉病院女性診療科・産科にて、妊婦健診を受けられた患者さんのエジンバラ産後うつ病自己評価票 (EPDS) を解析し、COVID-19 の流行によって、妊婦のメンタルヘルスにどのような影響をあたえたのかを検討します。

この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。

情報：質問用紙の情報、年齢、性別、分娩回数、妊娠方法、就労状況など

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (文部科学省・厚生労働省・経済産業省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学武蔵小杉病院 女性診療科・産科 渡邊 朝子

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町 1-396

電話番号：044-733-5181 (代表) 内線：3278

メールアドレス：morning1024@nms.ac.jp